



毎回70人前後の参加者で好評なふるさと講座、

現地研修なんかあって、とつても楽しい講座ですね。この講座に参加した動機は仕事柄(村社会福祉協議会勤務)、お年寄りのみなさんと接する機会が多く、少しでも郷土のことを知って話し相手になれたら、という気持ちからです。講座の内容は大変わかりやすいものですが、欲を言えば『岩室村史』なんかをもっと読んでから臨むと理解度が増すような気がします。時間的にみると、ちょっと不満も(土曜日や日曜日の講座が多い?)残りますが、勉強なのでしかたがありませんね。それから、もう少し若い人たちの参加があるといいですね。ともかく、なにも地域のことを知らないわたしですが、この講座で新しい発見をしたりして、なんか得したみたいな気がします。これからもふるさと講座は続きま



加藤 三子さん (和納4区・23歳)

なにかが得する講座

岩室村の出身でないのに、地域を知る、という点では非常にいい企画(講座)だと思います。いま、当中学校の社会科学クラブの生徒(十一人)も参加しているんですが、案外、身近なところのことを知らないようです。講座内容は子供たちにとつては、ちょっとむずかしいかもしれませんが、自分の住んでいる所のエピソードなんかを知ることは、貴重な財産になると思います。ところで、当クラブではいま、各地の神社を調べています。もしみなさんのお近くの神社に子供たちが伺いましたら、どうか協力をお願いします。



伊和 乾さん (岩室中学校教諭)

貴重な体験と財産

この日は続いて午後二時から会場を岩室村公民館に移して、午前の部でガッチリ? 脳裏に焼きつけた間瀬地区の自然ガイドを武器に、県立教育センターの中村義隆さんから「海辺の村・間瀬の今昔」について分

できそうね。でもこんな砂浜にこれほどきれいな石粒があるなんてとつてもステキ、と身近なところにあつた新しい発見に大喜び(とくに女性のみなさん)でした。この日は続いて午後二時から会場を岩室村公民館に移して、午前の部でガッチリ? 脳裏に焼きつけた間瀬地区の自然ガイドを武器に、県立教育センターの中村義隆さんから「海辺の村・間瀬の今昔」について分

丈夫な人で、昭和四十五年、岩室温泉病院の開院とともに岩室温泉病院に着任。十数年勤めたあと、惜しくも六十年三月に他界されました。「とつても気さくで、元氣のよい先生でした」と坪井医師の思い出を語ってくれた寺井元一岩室温泉病院長。いつか、思い出の「梅の木」をテーマに特集なんかを組んでみたいと思います。さて、話は続いて最新の講座である五回めにつりましよう。五回めは、先月二十三日、「天神山城と小国氏の盛衰」につ

て、興農館高校の井上慶隆さんから講義をうけました。はじめのプログラムでは、岩室の天神山城址などの現地見学をしながら具体的な解説をうける——といった講座メニューを計画していたのですが、大人数の講座では、移動などでとても「むり」との判断から講座方式に切り替えられました。この日のテーマは、『岩室村史』に詳しくしるされているところですが、戦国時代における村の動きというか、その置かれた状況なんかを少しは検証できたようです。



間瀬漁港近くの通称「陸(おか)弁天」では枕状溶岩の中に入っているフツ石(結晶)を観察しました(9月4日)。

とくに興味をそられた話に、村史本編六三四に掲載されている「坪井医師と村民のかかわり」がありました。それは大正十五年に開院した間瀬病院(当時の漁村としては、他に自慢できる医療体制で注目されたといわれます。現在の皆川医院間瀬分院)の医師として、秋田県から着任した坪井清治郎さんの当時の活躍ぶり昭和四年にここを退任する際、坪井医師から間瀬の全家庭に贈られたという「梅の木」の話など、不安定な社会情勢の中で、仁術を間瀬地区にささげた青年坪井医師と村民の温かい心の交流がほのぼのと解説され、受講者のみなさんは深くその話に引き込まれていたようです。ところで、この坪井先生はその後、新潟市で開院をして、警察医などもやられた気

あなたもチャレンジしてふるさとのガイドに

これまでは、いままで行われた講座の模様を中心にお話ししてきましたが、いよいよこれからのプログラムについて話をすずめていきます。六回めの講座は、今月十四日に左の表のメニューにもあるように「和納村の近世から現代へのあゆみ」というテーマで、和納地区を流れる西川の水運や和納六斎市・馬市について中村義隆さんが解説します。続く七回めの講座は今月二十二日、「近世の岩室村と温泉業」について新潟商業高校の松永克男さんが、そして二十九日には「岩室温泉と岩室基句考」というテーマで岩室村役場の山田豊昭さんが解説します。この④岩室基句もよく分析してみると、ち

よつとエッチでコミカルな歌。そのため温泉地の哀歌をみごとに表現している郷土民謡として有名ですから、歌に興味がなくとも聞いてみる価値はありそうです。十一月はよいよこの「ふるさと講座」のしめくりとして、四回の講座が組みまれています。九回めの講座は井上慶隆さんによる「石瀬の種月寺」。続く十回めもこれと連動して、現地研修というところで、会場を種月寺に移して「禅宗道場種月寺の今昔」という体験講座を行います。ここでは、実際に座禅を組んでのミニ修業?なんかも予定していますので、参加するにはおもしろい講座かもしれませんね。十一回めも岩室方面の現地研修を組み入れ、「水とたたかう岩室村の人々」というテーマで、矢川排水と樋曾道について、県史編さん室の本間 恂一さんが解説を行います。ここでは

先人の水とのたたかい、そして美田づくりに意を注いだ苦悩の農業史を探ります。さて、七月から五か月間にわたり開かれてきた「ふるさと講座」の総まとめ編ともいべき最終回は、十一月二十六日に開かれます。この日は閉講式に続き、いままでの学習のまとめを行います。各講座を総チェックして、岩室村の再確認をします。.....

これまで簡単に「おらが村岩室ふるさと講座」をのぞいてきましたが、いかがでしたか。まだ実際に体験(参加)したことのないみなさんには、わかりづらい面も多いかと思いますが、それなら一度、積極的に体験してみましようよ。そうすれば、新しい出会いと、愛するふるさと——岩室村の真の姿が見えてくるはずですよ。そこには未来の岩室村が見えるはず.....

ふるさと講座メニュー

開講日と会場	回	学習内容	講師群
7月2日(土曜日) 岩室村公民館 午後 1:30~4:00	1	開講式 岩室村の自然と風土	新潟青陵女子短期大学 長嶋 義介さん
7月9日(土曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	2	古代の蒲原地方 「古事記」の白鳥伝説	三条商業高校 桑原 正史さん
8月7日(日曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	3	弥彦・角田山周辺の 遺跡と古代の岩室	新潟江南高校 金子 拓男さん
9月4日(日曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	4	現地研修(間瀬地区) 海辺の村・間瀬の今昔	県立教育センター 中村 義隆さん
9月23日(金曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	5	天神山城と小国氏	興農館高校 井上 慶隆さん
10月14日(金曜日) 岩室村公民館 午後 7:00~9:00	6	和納村の近世から 現代へのあゆみ	県立教育センター 中村 義隆さん
10月22日(土曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	7	近世の岩室村と温泉業	新潟商業高校 松永 克男さん
10月29日(土曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	8	岩室温泉と岩室基句考	岩室村役場 山田 豊昭さん
11月9日(水曜日) 岩室村公民館 午後 7:00~9:00	9	石瀬の種月寺	興農館高校 井上 慶隆さん
11月12日(土曜日) 石瀬・種月寺 午後 2:00~4:00	10	禅宗道場種月寺の今昔	種月寺住職 寒河江真爾さん
11月20日(日曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	11	現地研修(岩室地区) 水とたたかう岩室村の人々	新潟県史編さん室 本間 恂一さん
11月26日(土曜日) 岩室村公民館 午後 2:00~4:00	12	閉講式 学習のまとめ	

④岩室基句…岩室の郷土民謡として広く親しまれている。古くは盆踊りうたとしてうたわれ、コミカルな歌詞は有名。

⑤枕状溶岩…玄武岩のマグマが海に流れ急に冷えてかたまと枕のような丸い形の岩(枕状溶岩)になります。